

平成25年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年11月14日

上場取引所 大

上場会社名 シライ電子工業株式会社
コード番号 6658 URL <http://www.shiraidenshi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 甚昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・財務担当 (氏名) 小谷 峰藏

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

TEL 075-861-8102

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,518	1.0	△82	—	△137	—	△208	—
24年3月期第2四半期	11,407	△3.8	△69	—	△304	—	△364	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △261百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △315百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△14.94	—
24年3月期第2四半期	△26.11	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	18,343	1,663	8.2	107.82
24年3月期	18,608	1,925	9.5	126.95

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,506百万円 24年3月期 1,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	4.0	500	△0.6	200	—	65	—	4.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 有 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- | | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 25年3月期2Q | 13,976,000 株 | 24年3月期 | 13,976,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年3月期2Q | 1,382 株 | 24年3月期 | 1,382 株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 25年3月期2Q | 13,974,618 株 | 24年3月期2Q | 13,974,618 株 |

25年3月期2Q	13,976,000 株	24年3月期	13,976,000 株
25年3月期2Q	1,382 株	24年3月期	1,382 株
25年3月期2Q	13,974,618 株	24年3月期2Q	13,974,618 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ（3）「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料については、平成24年11月下旬に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州経済の低迷が長期化の様相を呈し、また牽引役を期待された中国を中心とした新興国におきましても経済成長の鈍化が顕在化するなど、世界的な景気減速の兆候が強まりました。

わが国経済におきましては、震災復興需要を中心とした公共投資や自動車に対する需要刺激策等を背景に景気は緩やかな回復基調を示したものの、デフレ経済からの脱却は進まず、円高及び株価低迷は依然として継続したことに加え、尖閣諸島問題に端を発した中国との関係悪化は今後の企業活動への悪影響が懸念され、先行きは非常に不安定であります。

プリント配線板業界におきましては、エコカー減税等の効果によりカーエレクトロニクス関連は堅調に推移したものの、世界経済の減速や中国における日本製品の不買運動等の影響が全ての分野に波及する可能性があり、先行きは不透明であります。

このような状況のなか当社グループは、プリント配線板事業におきましては、国内営業では需要が好調なカーエレクトロニクス関連及び引き続き堅調に推移するホームアプライアンス関連を中心に受注強化を図り、その他各分野からの受注確保についても懸命に取り組みました。海外営業では北米・アジア新興国向けに需要が好調なカーエレクトロニクス関連やアジア市場で需要が堅調な通信・事務機器関連を中心に活動を展開いたしました。生産活動におきましては、国内外において製造力強化活動を継続展開し、労働生産性向上やリードタイム短縮等の生産体制強化を図るとともに品質向上にも注力いたしました。

プリント配線板外観検査機事業におきましては、両面同時撮像式検査機を中心に中国・台湾への販売強化を継続いたしました。また、高密度（HDI）基板等にも検査の幅を広げた新型の両面式自動外観検査機の販売を開始するとともに、プリント配線板メーカーの生産効率向上につながるソリューション提案体制も整えました。透明フレキシブル基板や銅ピン挿入基板等の新商品につきましても、引き続き新たな市場と顧客の開拓に注力いたしました。

このような取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,518百万円となり、前年同期比では110百万円（1.0%）の増収となりました。営業損益につきましては、売上高は増収となりましたが運賃及び荷造費等の販売費及び一般管理費が増加したことから、前年同期比では13百万円減益となる82百万円の営業損失となりました。

経常損益につきましては、前年同期に発生していた為替差損が当第2四半期連結累計期間では為替差益に転じたことや持分法による投資損失が改善したことなどにより、前年同期比では167百万円改善となる137百万円の経常損失となりました。

四半期純損益につきましては、税金費用の増加はありましたが営業外損益の改善により、前年同期比では156百万円改善となる208百万円の四半期純損失となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

（プリント配線板事業）

プリント配線板事業につきましては、エコカー減税等の効果によりカーエレクトロニクス関連が好調に推移し、ホームアプライアンス関連も堅調に推移したことから売上高は11,062百万円となり、前年同期比では63百万円（0.6%）の増収となりました。損益につきましては、売上高増収に伴い運賃及び荷造費等の販売費及び一般管理費も同時に増加となった結果、前年同期比では43百万円減益となる172百万円の営業損失となりました。

（プリント配線板外観検査機事業）

プリント配線板外観検査機事業につきましては、中国や台湾を中心にアジア方面から安定した受注が継続したことなどから売上高は469百万円となり、前年同期比では87百万円（22.8%）の増収となりました。損益につきましては、売上高の増収効果により73百万円の営業利益となり、前年同期比では16百万円（29.6%）の増益となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、18,343百万円（前連結会計年度末比264百万円減）となりました。その内訳は、流動資産が9,215百万円（前連結会計年度末比68百万円減）、固定資産が9,127百万円（前連結会計年度末比196百万円減）であり、主な増減要因は次のとおりであります。流動資産につきましては、受取手形及び売掛金は568百万円減少いたしましたが、現金及び預金が120百万円、製品が166百万円、仕掛品が124百万円、繰延税金資産が79百万円増加したことによるものです。固定資産につきましては、減価償却の実施等により有形固定資産は119百万円、無形固定資産は8百万円減少し、投資その他の資産は株式市場の低迷により投資有価証券の時価が低下したことなどにより68百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、16,679百万円（前連結会計年度末比3百万円減）となりました。その内訳は、流動負債が10,896百万円（前連結会計年度末比911百万円増）、固定負債が5,782百万円（前連結会計年度末比914百万円減）であり、主な増減要因は次のとおりであります。流動負債は、支払手形及び買掛金が221百万円、短期借入金が521百万円、賞与引当金が165百万円増加したことによるものであります。固定負債は、返済の実施により長期借入金が829百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,663百万円（前連結会計年度末比261百万円減）となりました。主な増減要因は、四半期純損失を208百万円計上したことや為替換算調整勘定が26百万円、その他有価証券評価差額金が31百万円減少したことによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は1,551百万円となり、前年同期比では291百万円増加いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、810百万円の獲得となり、前年同期比では840百万円の獲得増加となりました。その主な増減要因は、当第2四半期連結累計期間は、たな卸資産の増減額が188百万円増加したことにより資金流出増となりましたが、税金等調整前四半期純損失が201百万円改善となったことや、売上債権の増減額が678百万円増加したこと及び仕入債務の増減額が206百万円増加し、資金流出が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、59百万円の流出となり、前年同期比では266百万円の流出減少となりました。その主な増減要因は、当第2四半期連結累計期間では有形固定資産の取得による支出が182百万円減少したことや、定期預金の払戻による収入が100百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、545百万円の支出となり、前年同期比では619百万円の流出増加となりました。その主な増減要因は、当第2四半期連結累計期間には短期借入金の純増減額が248百万円増加しましたが、長期借入れによる収入が845百万円減少したことや、長期借入金の返済による支出が23百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月14日に公表いたしました連結及び個別業績予想につきましては、引き続き国内・海外とも景気や為替の動向が不透明であり、また尖閣諸島をめぐる日中関係悪化の影響が懸念されることから、現時点におきましては通期の業績修正は行わず、据え置いております。今後、業績予想の修正が必要なことが判明いたしました場合には、速やかに公表させていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,891	2,011
受取手形及び売掛金	5,285	4,716
製品	976	1,142
仕掛品	391	516
原材料及び貯蔵品	318	319
繰延税金資産	83	163
その他	337	346
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,283	9,215
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,488	3,423
機械装置及び運搬具（純額）	1,999	1,956
その他（純額）	2,059	2,047
有形固定資産合計	7,547	7,427
無形固定資産	200	192
投資その他の資産	1,576	1,507
固定資産合計	9,324	9,127
資産合計	18,608	18,343

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,532	3,753
短期借入金	3,684	4,206
1年内返済予定の長期借入金	1,868	1,733
未払法人税等	99	110
賞与引当金	106	272
その他	693	819
流動負債合計	9,985	10,896
固定負債		
長期借入金	5,589	4,759
退職給付引当金	662	658
資産除去債務	132	133
その他	313	231
固定負債合計	6,697	5,782
負債合計	16,683	16,679
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,361	1,361
資本剰余金	1,476	1,476
利益剰余金	△947	△1,155
自己株式	△0	△0
株主資本合計	1,890	1,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△33
為替換算調整勘定	△114	△141
その他の包括利益累計額合計	△116	△175
少数株主持分	150	157
純資産合計	1,925	1,663
負債純資産合計	18,608	18,343

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	11,407	11,518
売上原価	9,813	9,915
売上総利益	1,594	1,602
販売費及び一般管理費	1,664	1,685
営業損失(△)	△69	△82
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	2	2
仕入割引	9	9
為替差益	—	94
その他	10	22
営業外収益合計	23	131
営業外費用		
支払利息	145	152
為替差損	25	—
持分法による投資損失	67	24
その他	19	8
営業外費用合計	258	185
経常損失(△)	△304	△137
特別利益		
固定資産売却益	5	0
特別利益合計	5	0
特別損失		
固定資産廃棄損	1	1
投資有価証券評価損	42	—
会員権評価損	—	3
特別損失合計	44	4
税金等調整前四半期純損失(△)	△342	△140
法人税、住民税及び事業税	25	106
法人税等調整額	△5	△44
法人税等合計	19	61
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△362	△202
少数株主利益	2	6
四半期純損失(△)	△364	△208

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
少数株主利益	2	6
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△362	△202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△31
為替換算調整勘定	35	△28
持分法適用会社に対する持分相当額	17	2
その他の包括利益合計	47	△58
四半期包括利益	△315	△261
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△317	△267
少数株主に係る四半期包括利益	2	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△342	△140
減価償却費	390	385
リース資産減損勘定の取崩額	△19	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	58	164
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△0	△4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
受取利息及び受取配当金	△3	△3
支払利息	145	152
為替差損益 (△は益)	5	△81
固定資産売却損益 (△は益)	△5	△0
固定資産廃棄損	1	1
投資有価証券評価損益 (△は益)	42	—
会員権評価損	—	3
持分法による投資損益 (△は益)	67	24
売上債権の増減額 (△は増加)	△45	633
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△88	△276
仕入債務の増減額 (△は減少)	△45	160
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△51	63
その他	31	△21
小計	139	1,056
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△143	△153
法人税等の支払額	△49	△99
法人税等の還付額	18	4
営業活動によるキャッシュ・フロー	△30	810
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	100
有形固定資産の取得による支出	△325	△143
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△11	△2
無形固定資産の売却による収入	6	—
投資有価証券の取得による支出	△6	△4
保険積立金の解約による収入	—	3
その他	10	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△326	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	216	465
長期借入れによる収入	845	—
長期借入金の返済による支出	△955	△979
リース債務の返済による支出	△30	△32
少数株主への配当金の支払額	△2	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	74	△545

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	14
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△277	220
現金及び現金同等物の期首残高	1,536	1,331
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,259	1,551

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	プリント 配線板事業	プリント配線板 外観検査機事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	10,998	379	11,378	29	11,407	—	11,407
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	3	3	197	200	△200	—
計	10,998	382	11,381	226	11,608	△200	11,407
セグメント利益 又は損失(△)	△128	57	△71	△11	△83	14	△69

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業及び人材派遣・業務請負を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額14百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	プリント 配線板事業	プリント配線板 外観検査機事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	11,062	422	11,485	32	11,518	—	11,518
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	47	47	240	287	△287	—
計	11,062	469	11,532	273	11,806	△287	11,518
セグメント利益 又は損失(△)	△172	73	△98	5	△92	10	△82

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業及び人材派遣・業務請負を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額10百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（減価償却方法の変更）

「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、国内連結子会社が、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。この変更による影響は軽微であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。